

2007 年度

<p>科目名</p> <p>教育実習指導（社会）</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部文財4回生 文学部コミ4回生</p>	<p>担当者</p> <p>三宅 奎介</p>
<p>授業テーマ</p> <p>中・高等学校教育実習の意義理解と教職への一体感の形成について</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中・高等学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する授業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとまりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。従って、教育実習の事前授業では「教育実習の意義・内容・方法」を、事後授業では「体験に基づく教職観」について研究し、その修得を図る。</p>		
<p>評価方法</p> <p>①学習カード ②小論文 ③教育実習終了報告書 ④教育実習自己評価票</p>		
<p>テキスト</p> <p>中学校学習指導要領（平成15年12月改正）</p>	<p>著者</p> <p>文部科学省</p>	<p>出版社</p> <p>国立印刷局</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>第1回 教職課程・教育実習の意義及びを理解する。</p> <p>第2回 実地研修の観点から中・高等学校の学校運営について理解する。 実習手続きの指導（教務課）</p> <p>第3回 人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。</p> <p>第4回 学習指導案作成と授業指導の心得等々について理解を深める。</p> <p>＊ 実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生一ヶ月前</p> <p>＊ 中・高等学校教育実習（専任教員による訪問指導）</p> <p>第5回 実地研究のまとめ・発表と講評指導。 ※ 実習終了報告書の提示</p>		